

2019年7月2日

第14回 木曽川と堀川・上下流をつなぐ交流会の報告

広報 原 武勝

6月30日（日）長野県木曽郡大桑村 阿寺溪谷散策とフォレスパ木曽あてら荘を会場に行われる計画でしたが、生憎の雨降りとなり 一部予定を変更して行われました。

市役所西庁舎前に下流側の参加者 75 名が集合しました。考える会からは 40 名(内現役生 2 名)が参加です。

大型バス 2 台で 7 時 30 分スタートし、中央高速道中津川 IC を降り国道 19 号で中津川市を過ぎた頃から雨脚が強くなり、車内のあちこちより決行か否かの囁きが出だした頃、実行委員より現地委員から大雨で増水が激しいため、散策を取り止め館内での交流会のみとしますとの発表ありと聞かされ、落胆の声が上がりました。

会場となるフォレスパ木曽あてら荘に 10 時前に到着、タイムスケジュールの変更に伴い、大桑村 貴舟村長よりの挨拶と、村の生き字引と言われる川口さん（92 歳）より、村の歴史について理解しやすい講演がありました。

何百年も前に伐採された切り株に刻まれた刻印の現物を見る事が出来ました。4 人の女性ボランティアガイドさんからは、阿寺溪谷の担当区域に沿った説明を受けました。

11 時 30 分より 13 時まで昼食、休憩となり、希望者は温泉に入り、土産品の買い物を済ませ、13 時より意見交換会が行われ、全員の寄せ書き布と村長のサイン入り幟りとの交換、名古屋市 伊東副市長の挨拶、最後に記念集合写真撮影をして終了となりました。

13 時 45 分会場を後にして帰路、道の駅大桑での買い物、福沢桃介記念館での見学等を済ませ 17 時半頃無事帰着致しました。 お疲れ様でした。



交流会会場



大桑村村長の挨拶



村の生き字引 川口さん



ボランティアガイドさんの説明